

平成21年度

就職先および学生の
意識調査結果報告

発表者 オフィス情報学科
准教授 杉浦 礼子

I-1.はじめに

意識調査の目的について

- 就職先が学生に求めている資質スキルなどを把握すること
- 卒業生の現状を把握するとともに、キャリア支援に関して本学に求めていることを把握すること
- 教育現場が社会や学生のニーズにこたえる人材育成に着手することで、ミスマッチな就職を避け、早期離職の低減を図り、学生の長期キャリアを実現すること

I-2.はじめに

調査のアウトラインについて

採用先

教諭・保育士の採用等に関するアンケート

介護福祉士の採用等に関するアンケート

優秀な若手社員像に関するアンケート

能力評価

卒業生向けキャリアに関するアンケート

就職先および卒業生向け 能力評価アンケート

採用先向け 採用および人材育成に関する アンケート結果概要

Ⅱ-1 .教諭・保育士の採用等に関するアンケート概要

調査の目的

- 保育者(幼稚園教諭・保育園保育士)として求められる人材像とはどのような人材なのか、新規学卒採用時に重要視される資質・スキルを把握すること。
- 各園における保育サービスの取り組み状況や、自己都合退職者を再雇用する場合の雇用形態を調査し、学生のキャリア支援に役立てること

調査の対象

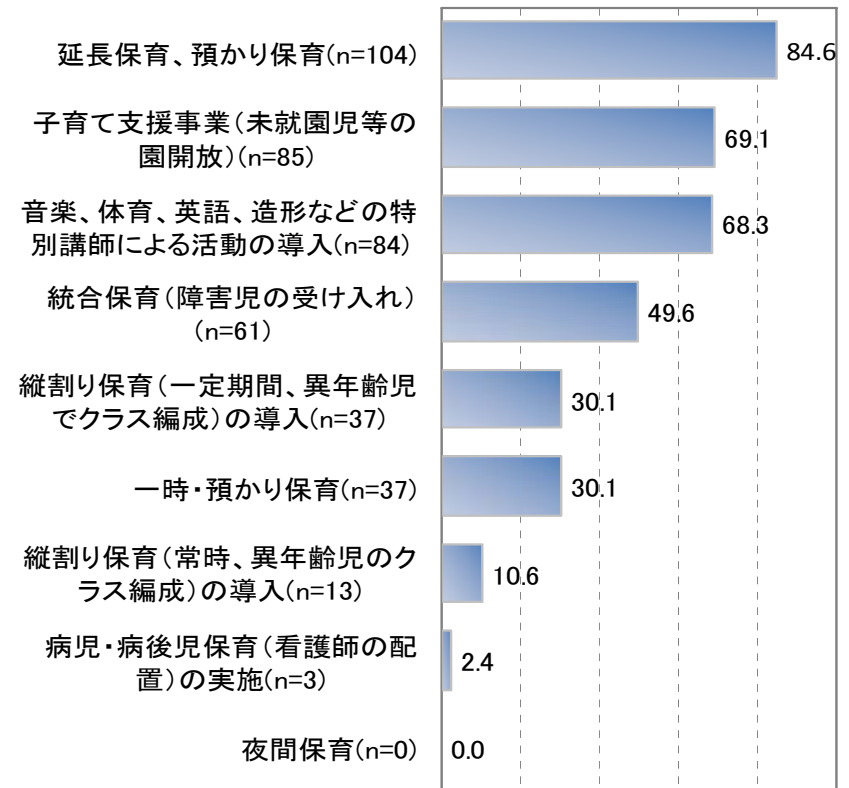
- 社団法人三重県私立幼稚園協会、三重県私立保育園連盟に加盟する幼稚園、保育園
- 有効回答先数 123先

Ⅱ-1 .教諭・保育士の採用等に関するアンケート結果

- 園で取り組んでいる保育サービスの種類は、
多様化している。

- ① 労働環境をはじめとする社会環境の変化に伴い生じるニーズに対応したサービス、
- ② 質の向上を目指したサービス、など積極的な取り組みが伺える。

G I -2: 保育サービスの種類 %
N = 123



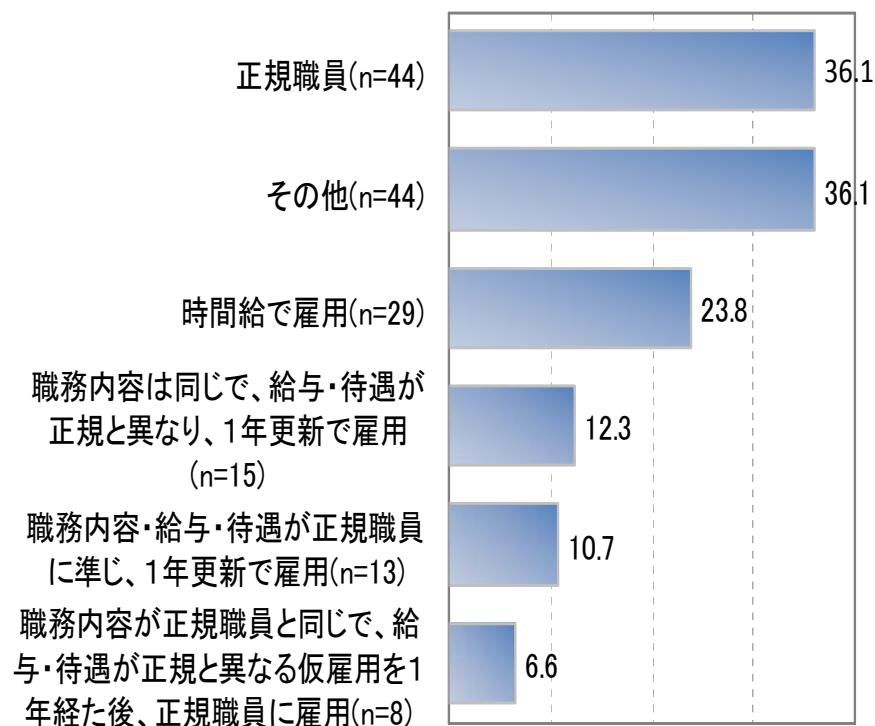
Ⅱ-1 .教諭・保育士の採用等に関するアンケート結果

- 再雇用希望者の雇用形態は、自己都合で退職の場合、

① 再雇用後も「正規職員」として雇用する園は、**36.1%**である。

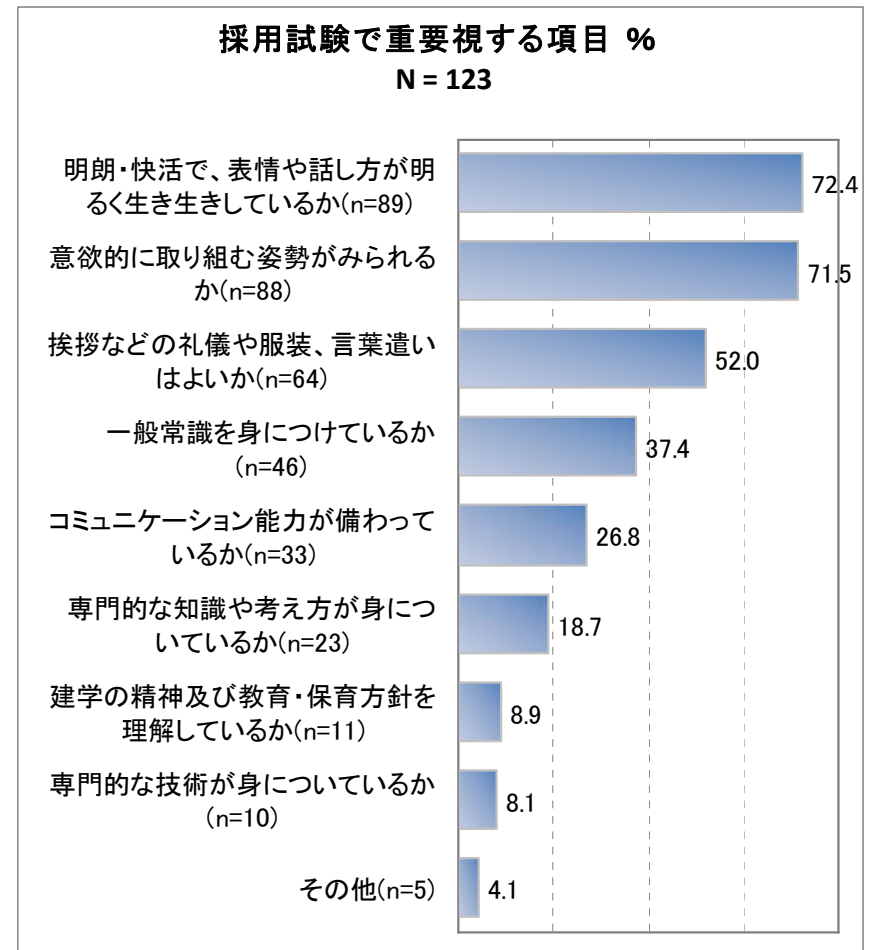
② 「その他」の多くは、**相談**のうえ、**決定する園が多数**であった。

G I -3:再雇用希望者の雇用形態 %
N = 123



Ⅱ-1 .教諭・保育士の採用等に関するアンケート結果

- 新規学卒者に対する、採用試験時には、
 保育に関する専門的な知識・技術よりも、挨拶などのマナーや明るいこと、意欲的なことなど、
 保育学生の**日常生活に関する部分を重視する**
 傾向があるということがわかる。



Ⅱ-1 .教諭・保育士の採用等に関するアンケート結果

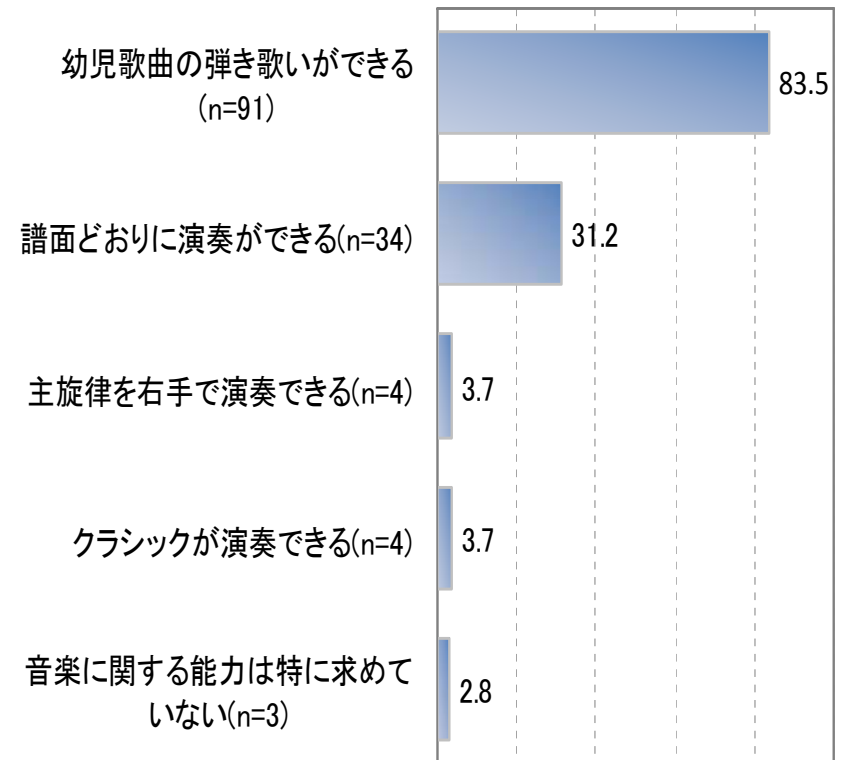
- 4つの能力(音楽、造形、体育、保育教材)に関する設問

① 音楽に関する能力

高度な専門的技術は求められていないものの、
音楽の楽しさを幼児に伝える保育者としての一定の技術が求められていることがわかった。

GI-4:音楽に関する能力 %

N = 123



Ⅱ-1 .教諭・保育士の採用等に関するアンケート結果

- 4つの能力(音楽、造形、体育、保育教材)に関する設問

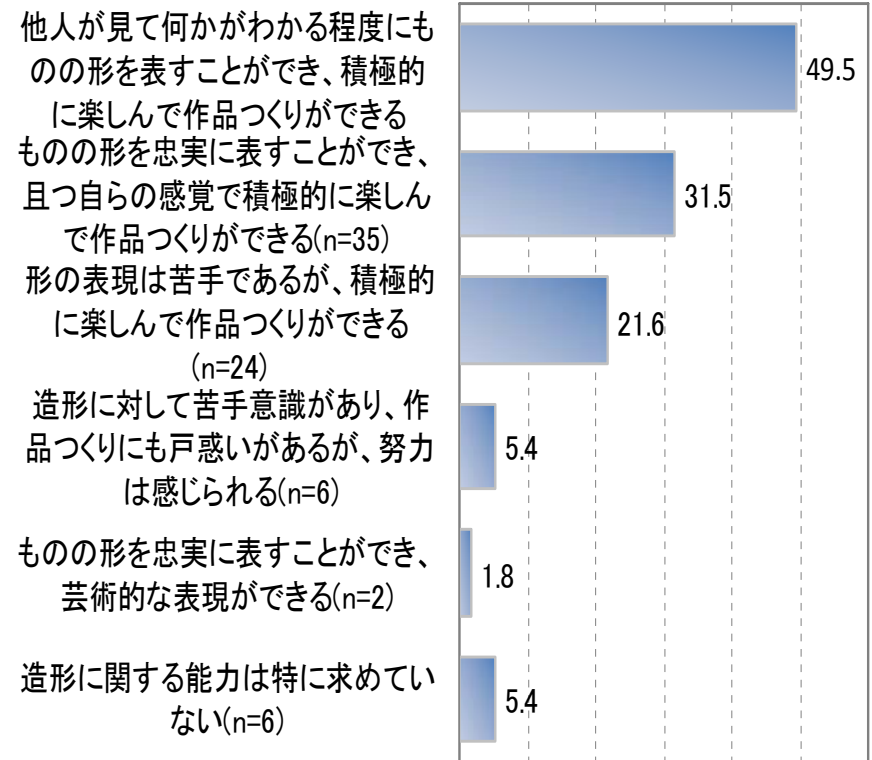
② 造形に関する能力

保育士自身が楽しんで作品づくりができ、

幼児にその楽しさを伝えることができる能力が求められている。

G I -5: 造形に関する能力 %

N = 123



Ⅱ-1 .教諭・保育士の採用等に関するアンケート結果

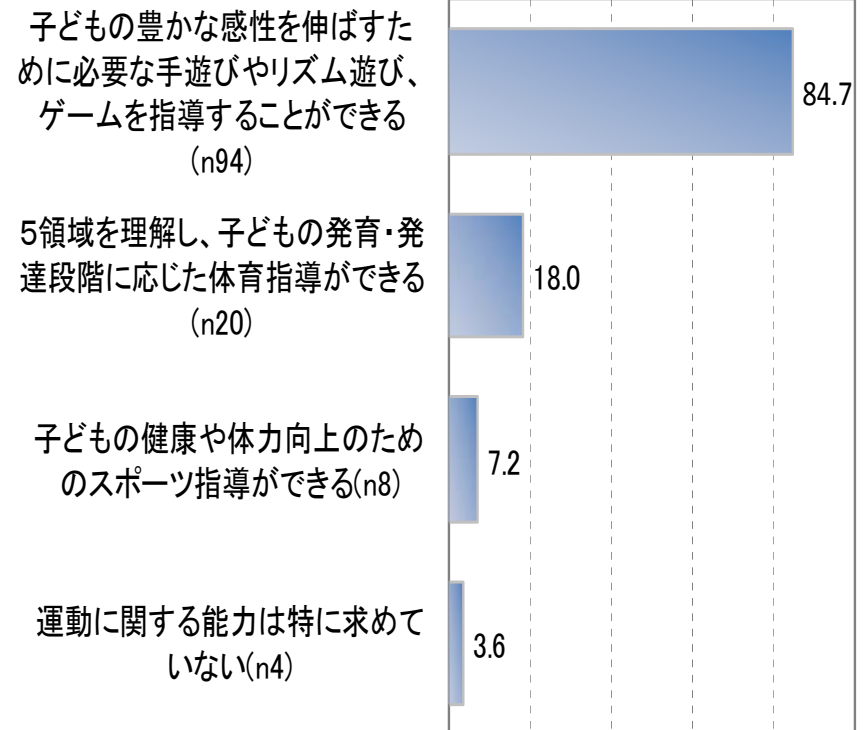
- 4つの能力(音楽、造形、体育、保育教材)に関する設問

③ 体育に関する能力

十分に体を動かす気持ちよさを体験し、自ら体を動かし、**豊かな感性を伸ばすことができる能力**が求められている。

G I -6: 体育に関する求める能力 %

N = 123



Ⅱ-1 .教諭・保育士の採用等に関するアンケート結果

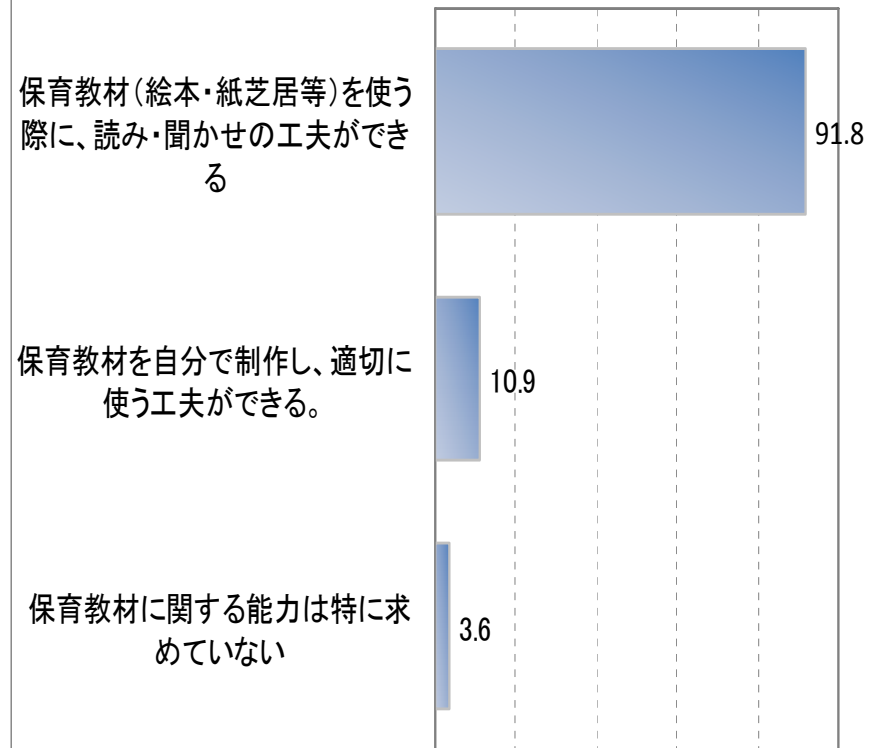
- 4つの能力(音楽、造形、体育、保育教材)に関する設問

④ 保育教材に関する能力

保育教材を自作できる能力より、読み・聞かせなどの**保育教材を使用する技術が求められている。**

G I -7: 保育教材に関する求める能力 %

N = 123



Ⅱ-2 .介護福祉士の採用等に関するアンケート概要

調査の目的

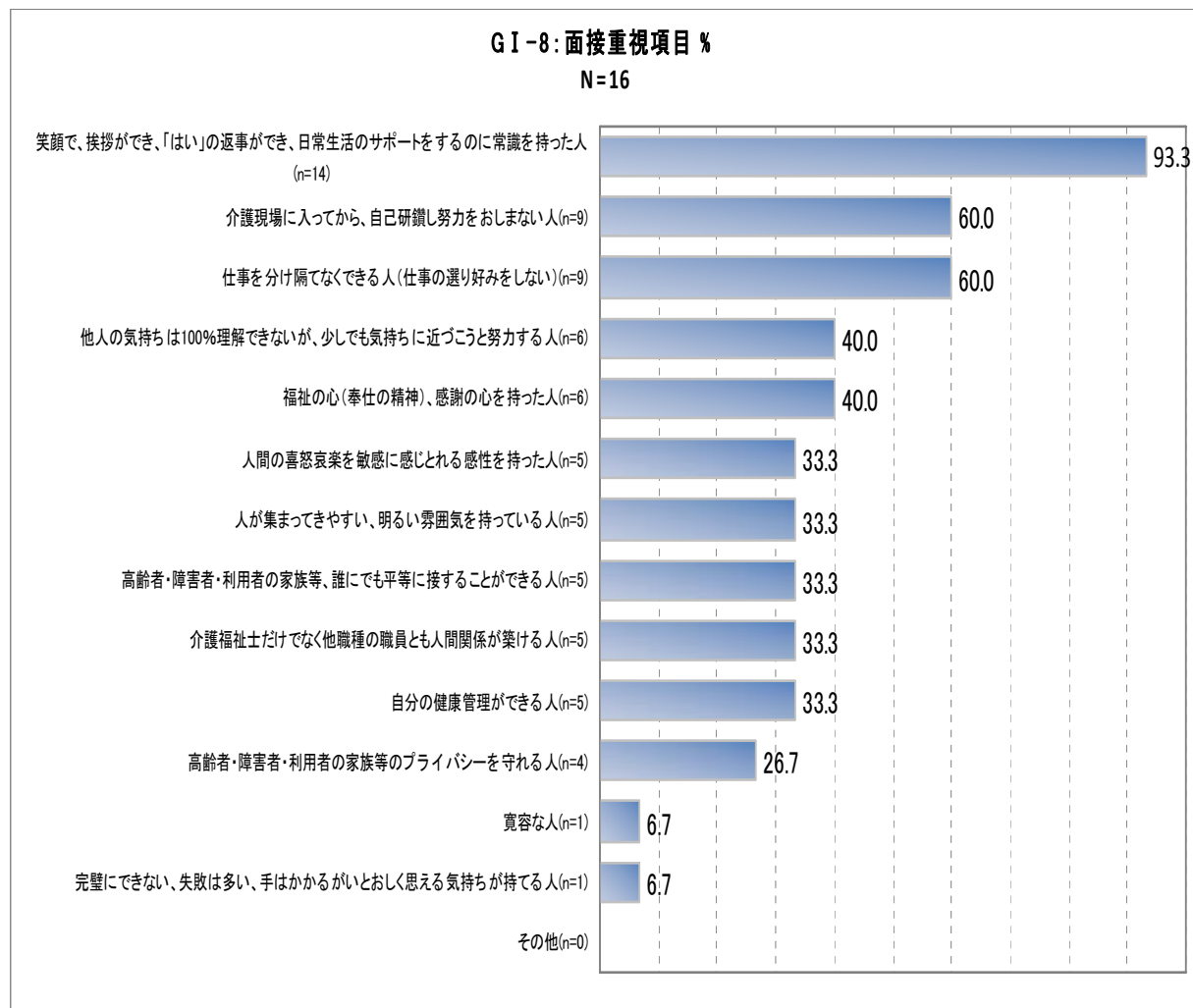
- 介護福祉士として求められる人材像とはどのような人材なのか、新規学卒採用時に重要視される資質・スキルを把握すること。
- 各施設における介護福祉サービスや介護福祉士育成の取り組み状況を把握し、本学の学生教育の取組改善に反映させるとともに学生のキャリア支援に役立てること

調査の対象

- 県内介護老人福祉施設等
- 有効回答先数 16先

Ⅱ -2 .介護福祉士の採用等に関するアンケート結果

- 新規学卒者に対する、採用試験時には、
「笑顔で、挨拶ができ、
「はい」の返事ができる人、常識を持った人」が求められている。



Ⅱ-2 .介護福祉士の採用等に関するアンケート結果

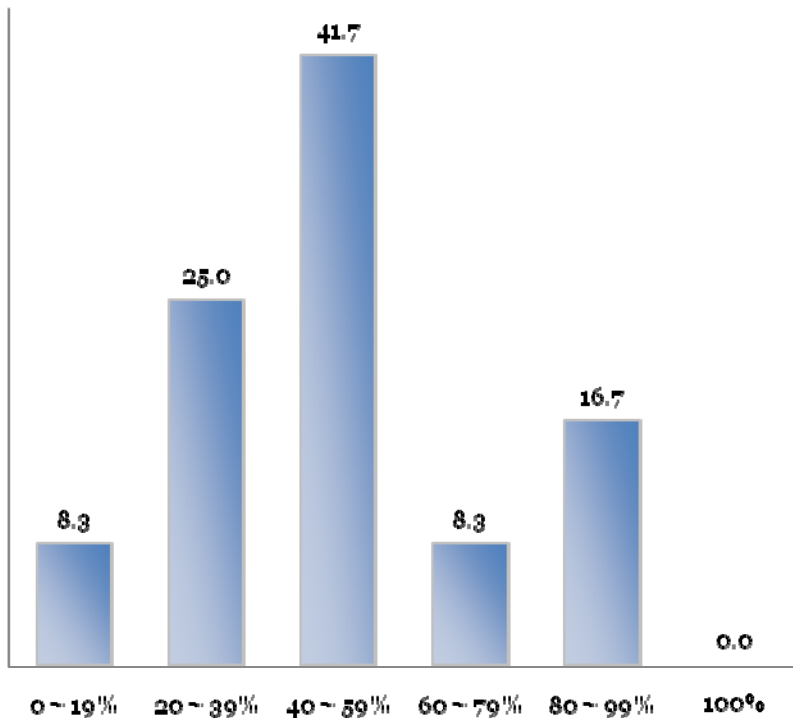
- 介護士育成に関しては、
 - ①時間をかけてでも、各施設が目指している介護士像に育成することを目指している施設が93.3%である。
 - ②研修を積極的に実施し、職員に機会を与えている施設が93.3%である。
 - ③ヒヤリハットに関する職員間の話し合いは、全ての施設で実施されている。
 - ④他の職種との連携を積極的に実施している施設は80.0%である。

Ⅱ-2 .介護福祉士の採用等に関するアンケート結果

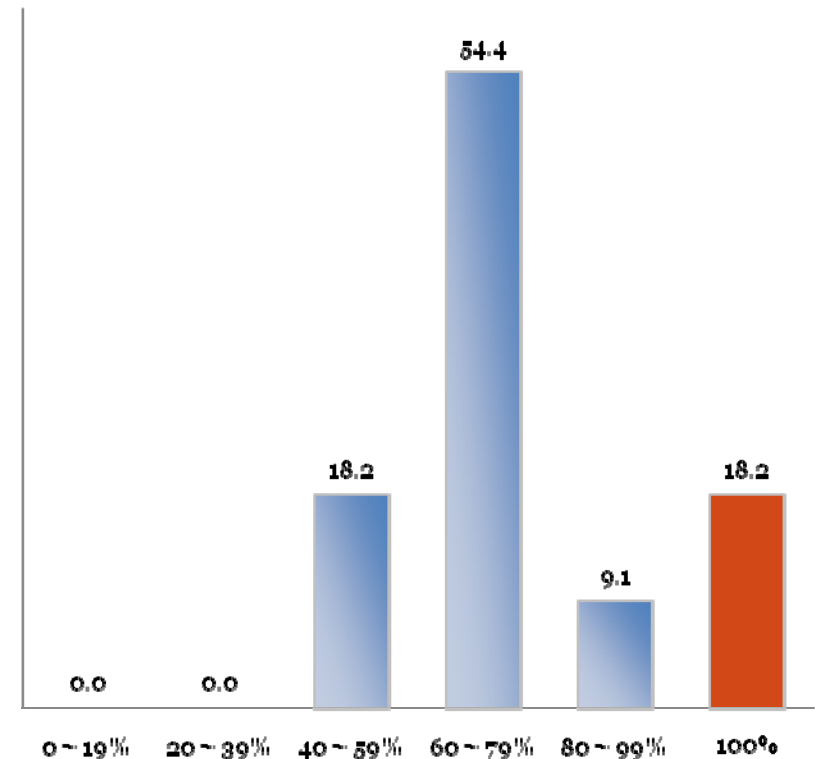
- 介護士への配慮に関しては、
 - ①腰痛など発症した際には、治癒するまで勤務時間・配属に配慮する施設は93.3%である。
 - ②育児休暇、介護休暇の積極的な取得に配慮している施設は86.7%である。
 - ③福利厚生(賃金や労働内容など)の見直しに積極的な施設は71.4%である。
 - ④休業後、職場復帰する場合は、「正規」職員として復帰できる施設は93.3%である。

Ⅱ-2.介護福祉士の採用等に関するアンケート結果

現在の介護福祉士の資格所有比率



今後の介護福祉士の資格所有比率



Ⅱ-3. 優秀な若手社員像に関するアンケート概要

調査の目的

- 企業が求める人材像とはどのような人材なのか、職種別に求める資質・スキルがどのように異なるのかを把握すること。
- 新規学卒者の採用時に求める資質・スキルを把握すること
- 採用3年後を目指し育成する理想の社員像(=優秀な社員と定義)を明確にすることで、ワンランク上の人材育成を目指す際の参考データとして活用すること。

調査の対象

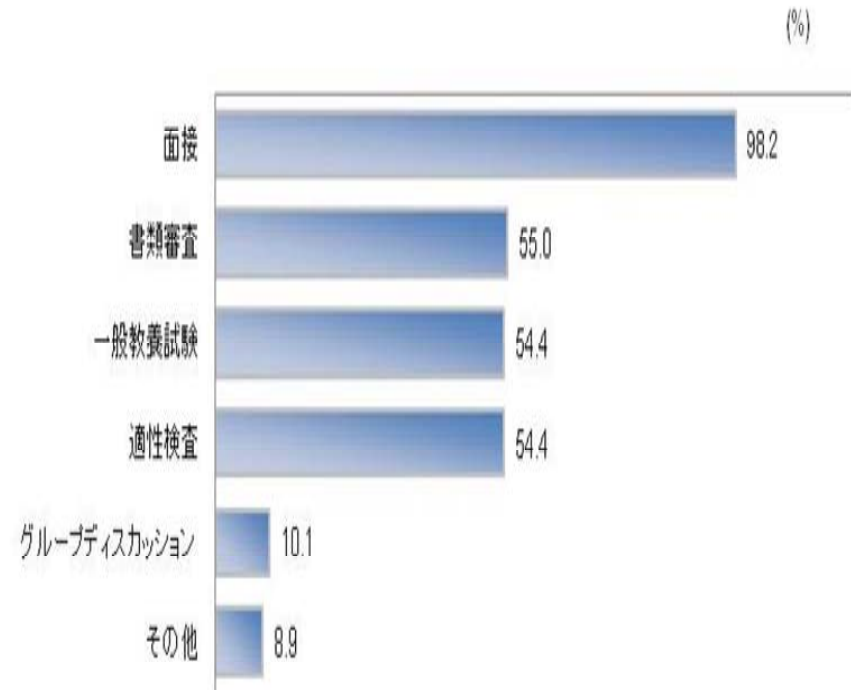
- 本学卒業生の就職実績がある企業および在学生が就職したいと考える三重県内を中心とする企業
- 有効回答先数 170先

Ⅱ-3 .優秀な若手社員像に関するアンケート結果

- 新規学卒者に対する、採用試験時には、面接を実施している企業が98.2%である。
- 採用を判定する際に、最も重視するものも、「面接」で92.1%である。
- **面接を重視する傾向は職種を問わない。**

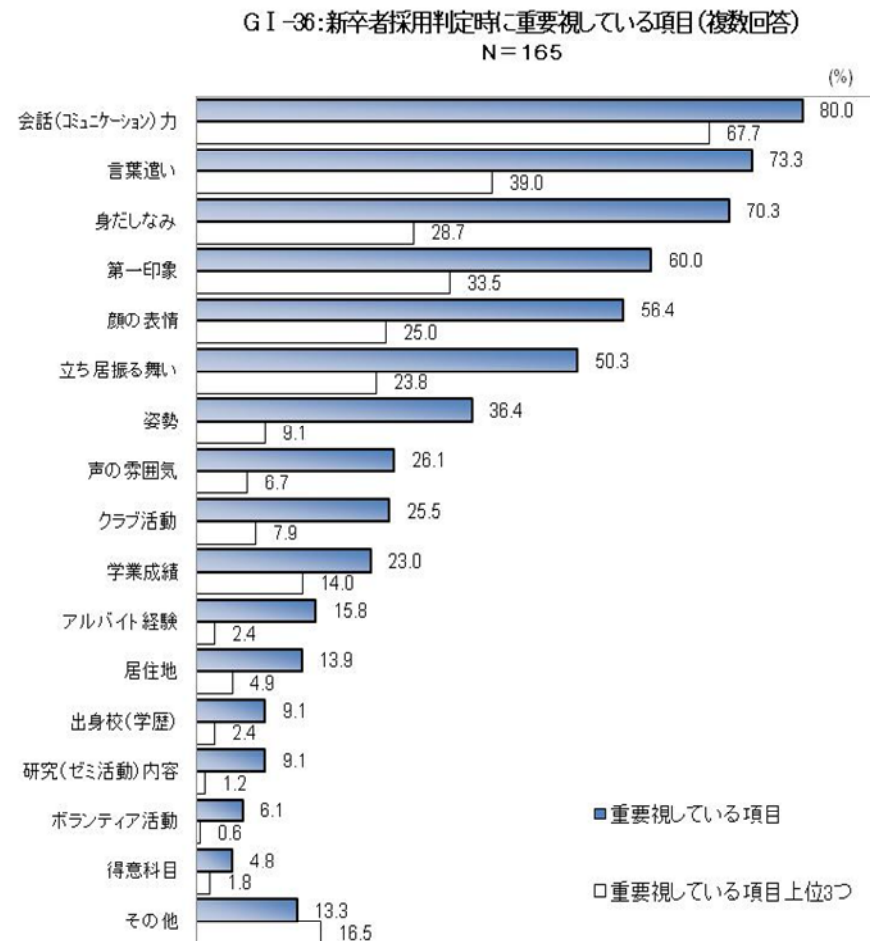
G1-34:採用時の判定に実施している項目(複数回答)

N=169



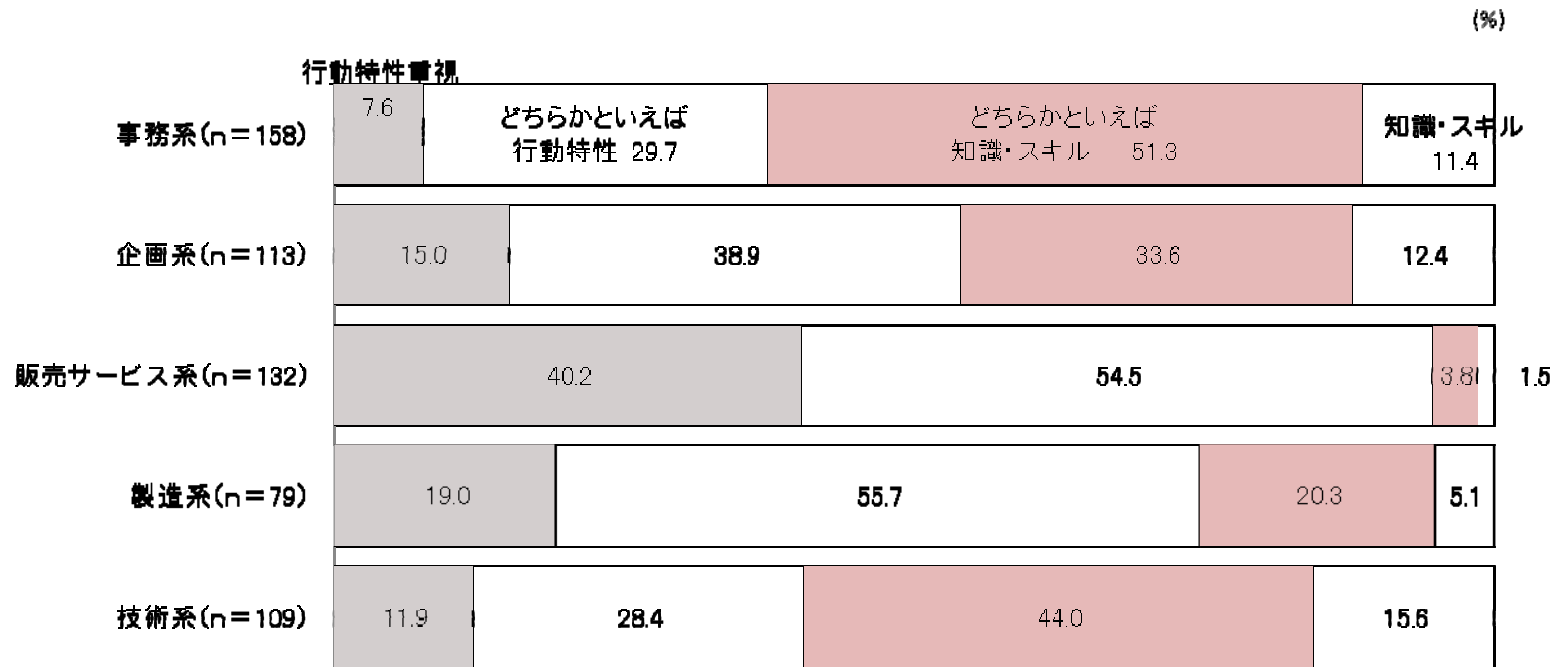
Ⅱ-3 .優秀な若手社員像に関するアンケート結果

- 採用判定時に重要視している項目は、
 1位: 会話力
 2位: 言葉遣い
 3位: 身だしなみ であり、
- 採用判定時に重要視されていない項目は、
 1位: 居住地、2位: 学歴、
 3位: 得意科目の順である。



Ⅱ-3 .優秀な若手社員像に関するアンケート結果

- 新規学卒者に求められる能力バランスについては、
職種間で大きな差が見受けられる。



Ⅱ-3 .優秀な若手社員像に関するアンケート結果

入社前に身につけるべき能力

- 新規学卒者に対して、入社前までに身につけるべきと企業が考えている能力は、

| | |
|--------------|-------|
| 1位:「誠実さ」 | 83.4% |
| 2位:「思いやり」 | 68.8% |
| 3位:「チャレンジ精神」 | 57.3% |
| 4位:「几帳面さ」 | 56.7% |

入社3年後までに身につけるべき能力

- 採用3年後までに身につけるべきと企業が考えている能力は、

| | |
|---------------|-------|
| 1位:「専門知識」 | 78.8% |
| 2位:「コスト意識」 | 72.4% |
| 「業務改善力」 | |
| 4位:「目標達成への執着」 | |
| 「問題解決力」 | 69.2% |

入社後は、コンセプチュアルスキル、テクニカルスキルの養成が求められている。

オフィス情報学科の3S

「あなたでなければ！」といわれる人を育てます



Smile 笑顔 キラキラと輝く笑顔を育てます
Skill 技能 学生の技能と資格をサポートします
Sincerity 誠実 誠実な学生を育てます

Ⅱ-3 .優秀な若手社員像に関するアンケート結果

入社時と採用3年後社員に求める能力
【総務、人事、秘書】

入社時に重要視する能力

| | |
|------------|-------|
| 1位 誠実さ | 62.3% |
| 2位 几帳面さ | 54.1% |
| 3位 思いやり | 33.6% |
| 4位 ビジネスマナー | 32.8% |
| 5位 慎重さ、冷静さ | 28.7% |

採用3年後に重要視する能力

| | |
|--------------|-------|
| 1位 社内人間関係調整力 | 35.9% |
| 2位 ビジネスマナー | 32.5% |
| 3位 専門知識 | 29.9% |
| 4位 几帳面さ | 27.4% |
| 5位 問題解決力 | 24.8% |

Ⅱ-3 .優秀な若手社員像に関するアンケート結果

入社時と採用3年後社員に求める能力 【経理・財務】

入社時に重要視する能力

| | |
|-----------|-------|
| 1位 几帳面さ | 68.9% |
| 2位 誠実さ | 58.0% |
| 3位 慎重さ | 41.2% |
| 4位 計数管理能力 | 33.6% |
| 5位 冷静さ | 31.9% |

採用3年後に重要視する能力

| | |
|------------|-------|
| 1位 専門知識 | 50.4% |
| 2位 几帳面さ | 38.9% |
| 処理速度 | |
| 4位 計数管理能力 | 35.4% |
| 5位 情報整理スキル | 29.2% |
| コスト意識 | |

Ⅱ-3 .優秀な若手社員像に関するアンケート結果

入社時と採用3年後社員に求める能力
【営業事務・一般事務】

入社時に重要視する能力

| | | |
|----|---------|-------|
| 1位 | 几帳面さ | 61.2% |
| 2位 | 誠実さ | 59.5% |
| 3位 | 慎重さ | 31.9% |
| 4位 | ビジネスマナー | 31.0% |
| 5位 | 冷静さ | 29.3% |

採用3年後に重要視する能力

| | | |
|----|---------|-------|
| 1位 | 処理速度 | 38.2% |
| 2位 | 几帳面さ | 31.8% |
| 3位 | ビジネスマナー | 30.0% |
| | 情報整理スキル | |
| 5位 | 誠実さ | 29.1% |

Ⅱ-3 .優秀な若手社員像に関するアンケート結果

- 採用3年後までに取得して欲しい資格・検定名称一例

日商簿記検定（1級、2級）、 販売士（2級、3級）

ビジネススキル検定、ビジネス実務法務（3級）

ビジネス法務、 キャリアコンサルタント

社会保険労務士、 宅地建物取引主任者 、 介護福祉士

A F P（AFFILIATED FINANCIAL PLANNER）

ファイナンシャル・プランニング技能士（2級、3級）

銀行業務基礎検定、 損害保険窓販資格、

証券外務員資格（1種、2種）

損保マスター、 損害保険代理店資格、 建設業経理検定3級

建設業経理士、 建設経理事務士 など

卒業生向け キャリアに関する アンケート結果概要

Ⅲ-1 . キャリアに関するアンケート概要

調査の目的

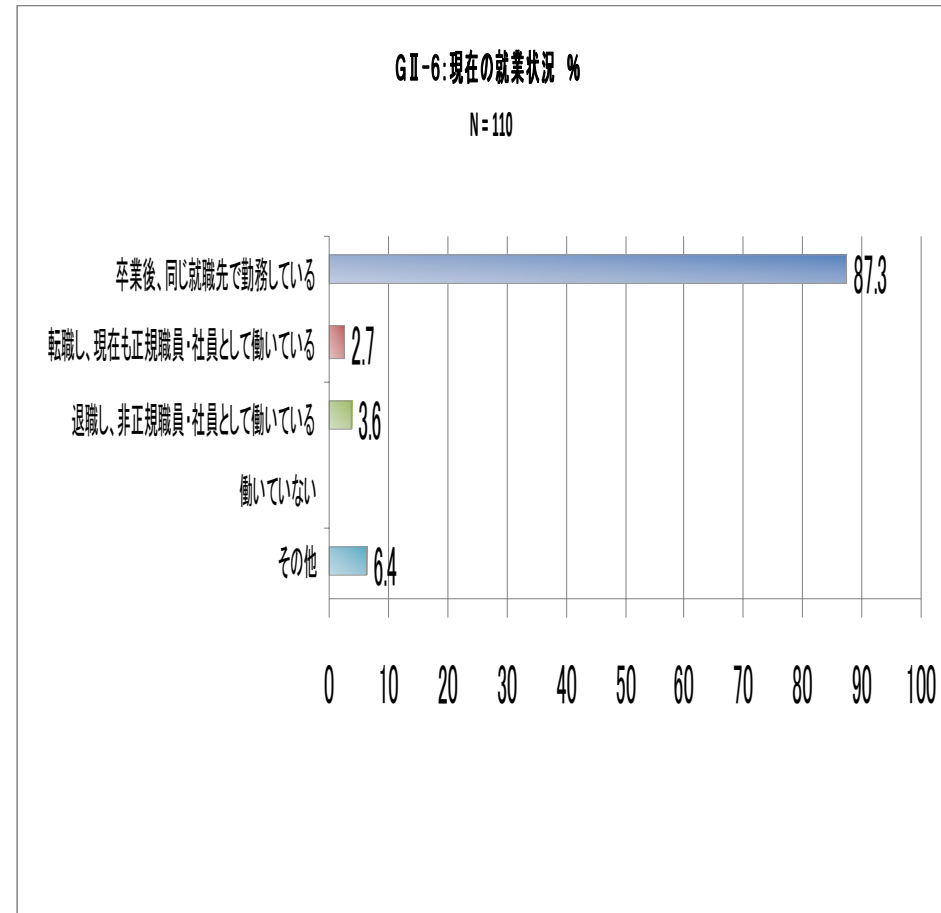
- 卒業生の現状を把握すること
- 本学卒業後、勤務等をしてから大学生生活を振り返る意見を収集することで、今後の学生指導およびキャリア支援の在り方を考える際の参考とする

調査の対象

- 本学、子ども学科・人間介護福祉学科を平成19年3月以降に卒業した卒業生 449名
- 有効回答先数 110名
(子ども学科100名、人間介護福祉学科10名)

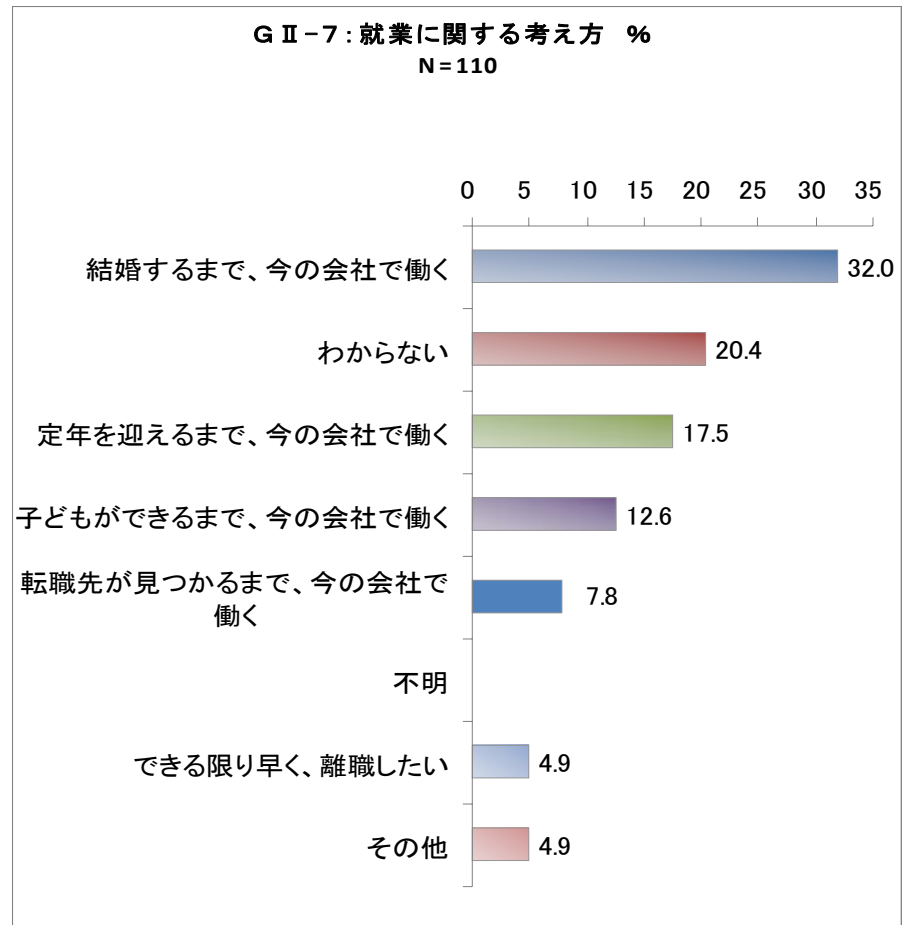
Ⅲ-1 . キャリアに関するアンケート結果

- 現在の就業状況については、**同じ就職先で勤務し続けている学生が87.3%**であるほか、**離職を経験した学生も別の組織で働いている数は多く、現在、働いている学生が多い様子**が伺える。



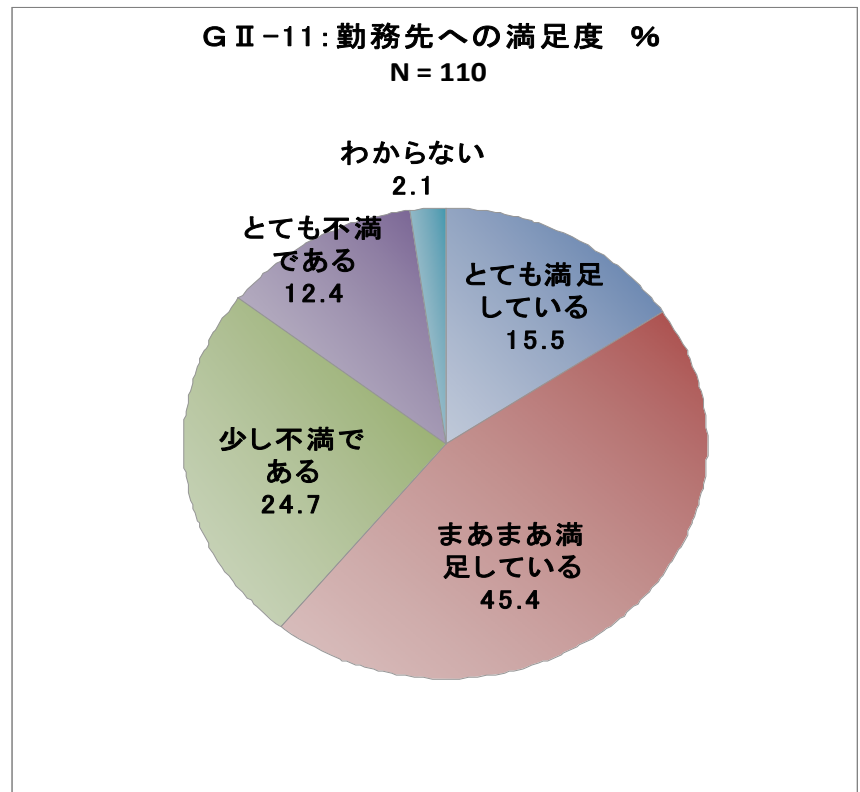
Ⅲ-1 . キャリアに関するアンケート結果

- 就業に関する考え方については、**定年まで今の会社(園など)で働き続けたい**と考えている卒業生は17.5%である。
- **結婚・出産が転退職の理由**となるケースが多いことが就業意識からも読み取ることができる。



Ⅲ-1 . キャリアに関するアンケート結果

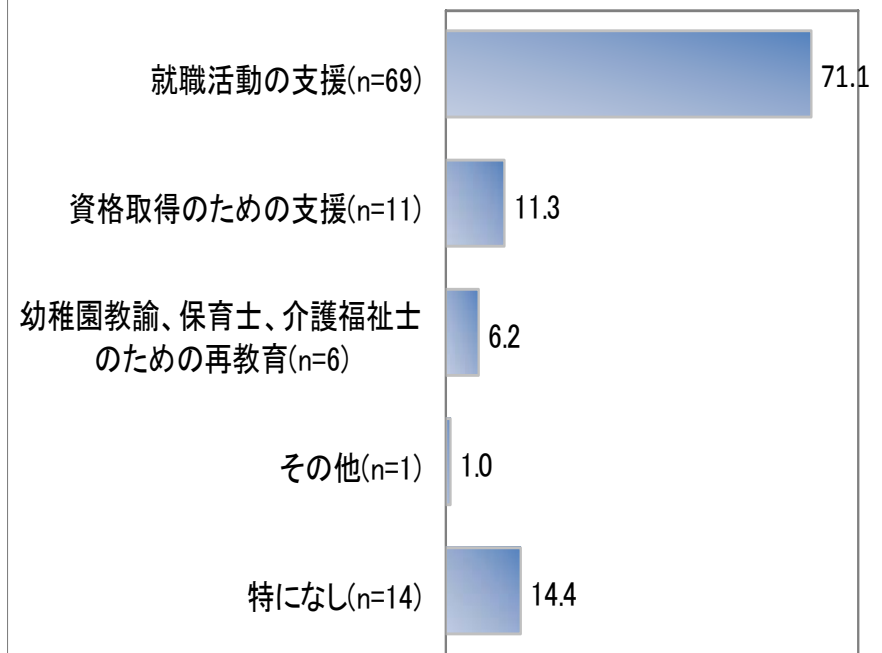
- 勤務先への満足度については、卒業生の約6割が満足傾向にあるものの、**約4割の卒業生が何らかの不满を抱きながら勤務している実態**が分かる。



Ⅲ-1 . キャリアに関するアンケート結果

- 再就職時に本学に期待することについては、
就職活動の支援を期待する卒業生は71.1%である。

GⅡ-12: 再就職時に高田短大に期待すること %
N = 110



Ⅲ-2 . キャリアに関するアンケート概要

調査の目的

- 卒業生の現状を把握すること
- 本学卒業後、勤務等をしてから大学生活を振り返る意見を収集することで、今後の学生指導およびキャリア支援の在り方を考える際の参考とする

調査の対象

- 本学、オフィス情報学科を平成19年3月以降に卒業した卒業生 152名
- 有効回答先数 19名

Ⅲ-2 . キャリアに関するアンケート概要

- 卒業後、初めて担当した職種は、事務系が8割以上で、営業事務・一般事務である学生が68.2%である。
- 現在の就業状況は、卒業後同じ会社で働き続けている学生が77.3%である。
- 勤務先への満足度については、63.6%が満足傾向にあるものの、27.2%が不満足傾向にある。
- 本学卒業生であること満足度については、約9割が満足傾向にある。

採用・卒業生による 能力評価結果

IV-1 .能力評価調査の概要

調査の目的

- 全学科を卒業した学生の就職先において、本学卒業生に対する能力評価の現状を把握する
- 卒業生による自分自身に対する能力評価結果と就職先による能力評価結果を比較分析することで、今後の学生指導・キャリア支援のあり方を検討する

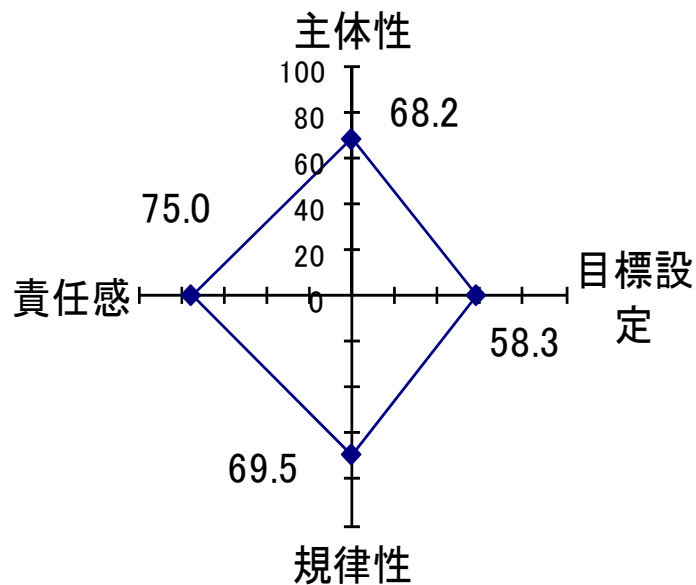
調査の対象

- **【就職先】**三重県私立幼稚園協会、三重県私立保育園連盟加盟の幼稚園、保育園、県内介護老人福祉施設等、県内企業等。
有効回答先数 132先
- **【卒業生】**本学、子ども学科・人間介護福祉学科、オフィス情報学科を平成19年3月以降に卒業した卒業生。有効回答先数 133人

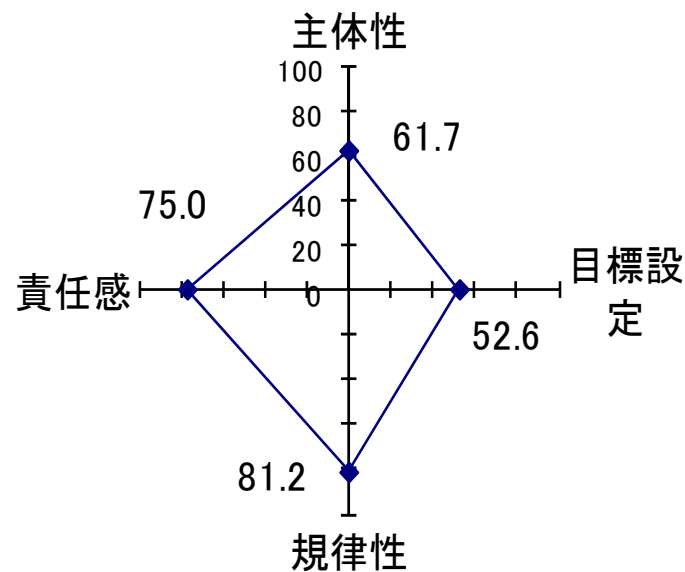
IV-1 .能力評価調査の結果

【意欲】

採用先満足度



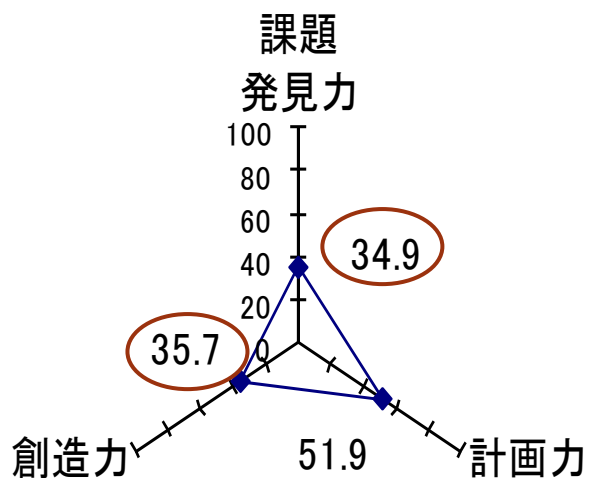
卒業生自己評価



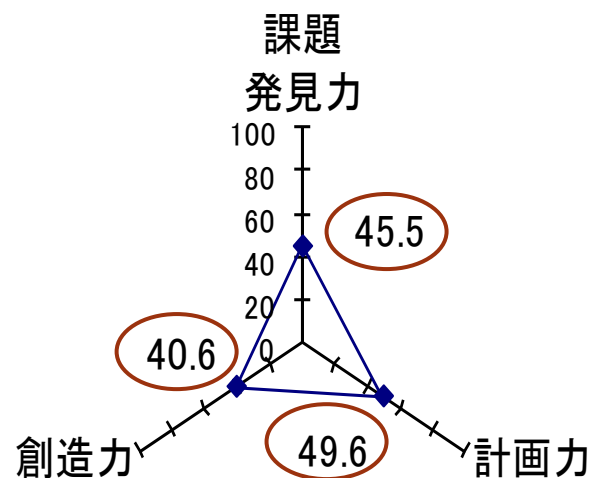
IV-1 .能力評価調査の結果

【考える力】

採用先満足度



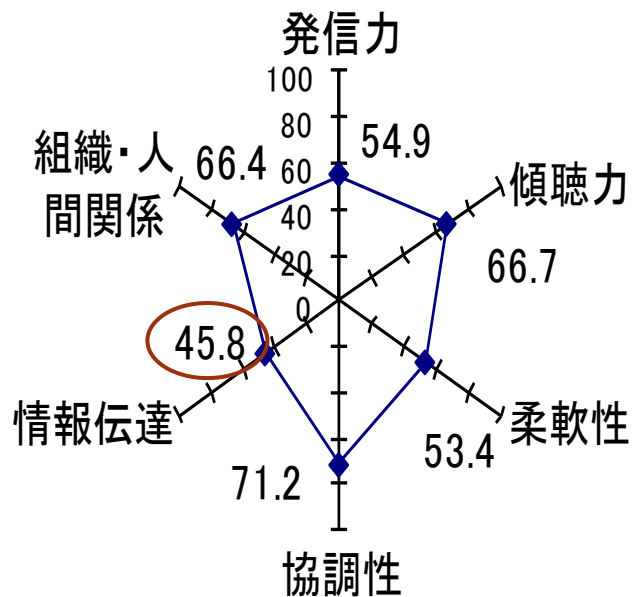
卒業生自己評価



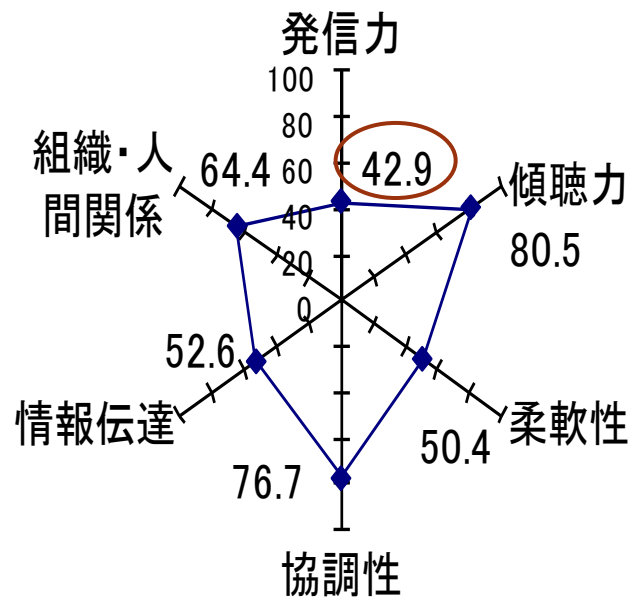
IV-1 .能力評価調査の結果

【コミュニケーション力】

採用先満足度



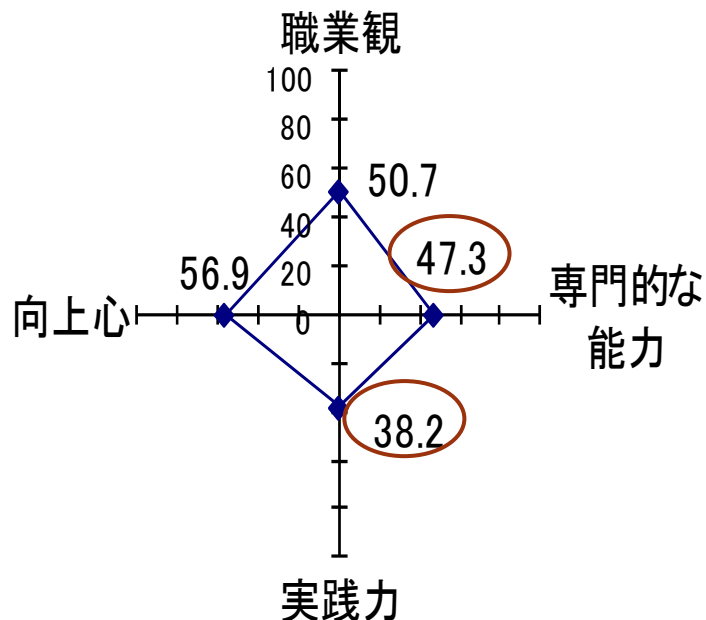
卒業生自己評価



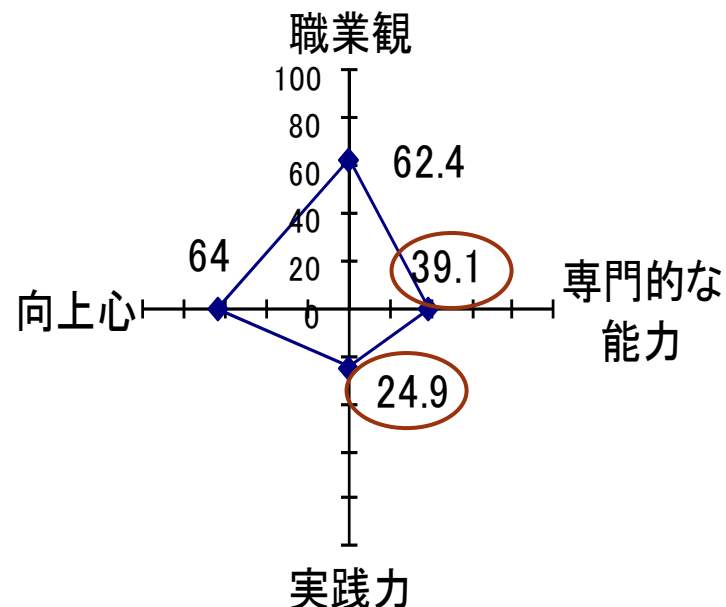
IV-1 .能力評価調査の結果

【職業人意識力】

採用先満足度



卒業生自己評価



オフィス情報学科における 改善例

V-1 .改善計画の例（計画段階を含む）

職種別：企業が社員求める能力の結果より、

- ビジネスマナー関連のカリキュラムを強化
必修科目増加／サービス接遇検定取得可能なカリキュラムの準備
- 人間関係論を設置し人間関係調整力を養う

卒業生向けのアンケート結果より、

- 資格・検定合格者数を増加させるため講座を増強
簿記(クラス別強化)／医療事務(開講時期の変更)など
- ファイナンシャルプランニングの講座を設置
- 知名度向上に向けた取り組みを企画・実施

学生や地域に選ばれ続ける
高田短期大学であるため、
向上し続けます。